

# 平成23年度一般会計予算について

規模は270億2000万円

**質**

予算の中で、重点政策の事業は何か。

**答** 市長

「高速情報通信網整備事業」「新庁舎建設」「学校耐震化」などです。

**質**

事務事業の見直しによる廃止、縮小した事業の実績評価は。

**答** 市長

副市長をトップとする内部評価委員会を設置し、各事務事業においてヒアリングを行い業務を評価しました。

**質**

国の緊急経済対策などの交付金の効果をどのように分析、評価しているのか。

**答** 市長

将来発生すると考えられる市の負担を、大きく軽減できたもの判断しています。



改築した三重第一小学校の体育館

**質**

第2期集中改革プランの削減目標達成に向け、計画どおり推移しているのか。

**答** 市長

給与費や公債費以外の「人件費」や「物件費」などの費用を削減していきます。

**質**

今後の財政見通しと課題は。

**答** 市長

平成31年度からの5年間は、基金の取り崩しによる財政運営を余儀なくされるため、今後は確実に行政改革を断行していきます。

ひでやすの お 小野 泰秀  
清風クラブ

# オオカミ再導入について

〜今こそ議論を始める時期〜

**質**

この度の市長のオオカミ再導入発言は、全国的な話題となつていきます。あたかも豊後大野市民や議会が同意をしたことくに聞こえるが、少なくとも議会において一度も議論したことすらありません。ご自分の考えに自信があれば、「1メートルからの民主主義」を標榜する市長だけに堂々と議会で議論し、市民に対して説明すべきと考えます。一連の市長の言動は、議会軽視、市民無視と言わざるを得ません。

オオカミが日本の森林に住めるのか、減らす必要もない在来の野生動物や家畜にも影響を及ぼす恐れもあり、さらには人を襲わないという保証もありません。

このような状況下にあっても、オオカミの再導入を考えているのか。

**答** 市長

オオカミ再導入については、市民の同意、さらには県を含めた近隣自治体および国の関係機関の合意がなければ実現できなく、自治体を取り組む課題ではないが、議論を始める時期であると考えています。



平川動物公園（鹿児島市）提供

# 教育行政について

〜教育活動の充実に取り組む〜

**質**

今年4月より小学校から新学習指導要領が完全実施されるが、この度、改訂された学習指導要領の趣旨を実現するためには、指導体制の確立を含む教育条件の整備、指導方法の改善が求められているところだが、本市としてはどう対応していくのか。

**答** 教育長

主な改訂内容については、「確かな学力を育成するための授業時間数の確保」「小学校段階における外国語活動」「中学校における武道の必修化」などが示されております。

授業時間数の増加については、段階的に授業時間を増加しながら円滑な移行を進めていきます。

小学校外国語活動については、市費による「小学校外国語活動推進事業」を展開し、準備を進めています。

中学校の体育分野における「武道の必修化」については、平成23年度より市内すべての中学校に柔道着や剣道用具を準備し、中学校ごとに柔道または剣道を選択し実施します。